

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

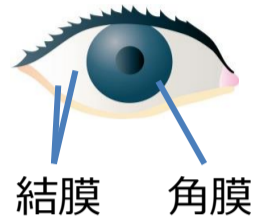
流行性角結膜炎(はやり目)に注意しましょう!

熊本市における第29週(7月13日～7月19日)の定点医療機関あたりの流行性角結膜炎患者報告数は、6.40人(定点数5ヶ所、患者報告数32人)でした。警報基準値(定点医療機関あたり8.00人)には届かないものの、今年最多の報告数となりました。感染予防をしっかりと行いましょう。

【流行性角結膜炎(はやり目)の特徴】

アデノウイルスによる疾患で、潜伏期8～14日の後、急に発症します。症状は、まぶたが腫れる、涙が出る、目やにが多くなる、耳前リンパ節が腫れる、などがあります。角膜に炎症が及ぶと、角膜が濁ることがあります。季節としては、夏に多く、幅広い年齢層に見られます。

治療は、対症療法として、抗炎症剤の点眼などを行います。



【感染予防のポイント】

アデノウイルスはとても感染力が強く、ウイルスに汚染されたティッシュペーパー、タオルなどに触れるなどして感染するので、流水と石鹸で手を洗いましょう。家族に患者がいる場合は、特に、次の点に注意をしましょう。

- ・ 家族内では、目やにや涙で汚れそうなタオル、枕などの共用は避けましょう。
- ・ 眼をさわったら、すぐに流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。
- ・ 入浴は家族内で最後にするか、入浴後の湯を交換しましょう。入浴後の残り湯は洗濯などに使わないようにしましょう。

期 間		平成27年 第28週		平成27年 第29週	
		7/6～7/12		7/13～7/19	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	0	0.00	1	0.04
RSウイルス感染症	→	0	0.00	2	0.13
咽頭結膜熱(プール熱)	→	2	0.13	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	20	1.25	12	0.75
感染性胃腸炎	→ 流行中	70	4.38	54	3.38
水痘(みずぼうそう)	→	6	0.38	2	0.13
手足口病	→ 流行中	148	9.25	157	9.81
伝染性紅斑(りんご病)	→	4	0.25	1	0.06
突発性発しん	↓	20	1.25	6	0.38
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	37	2.31	44	2.75
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	3	0.19	3	0.19
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 流行中	19	3.80	32	6.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	3	0.60
マイコプラズマ肺炎	→	2	0.40	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00